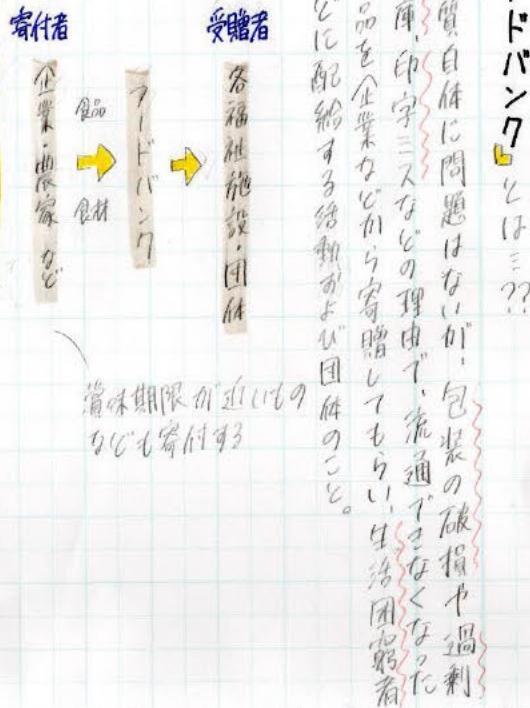


日本から変えていく

食品口入

高知商業高等学校

2年5H



防災と人口学

三〇 食品ロスと  
— 3 月 —

⑥  $\frac{1}{3}$  ハーフ

販賣期限が残り二分の一となる前に、卸業者が小売店に納品しなければならない。

酒味期が六ヶ月の間に、味期限が残り二ヶ月未満の卸業者は、スマークを納入しない。

2ヶ月前に小売店に卸すことになりましたが、卸業者は商品を食品メーカに返却。返却された商品は正規の値段で販売することができなります。ディスカウント店などに引き取てもらうことになります。これらを取り扱うことがない場合は最終的に廃棄になってしまふ。

世界の食の現状  
食品廃棄量 約 **13億トン**  
※年間の生産量は約40億トン、  
廃棄がこれでいることになる。

年間の生産量は約40億ト、  
廢棄されてしまうことになる。

319

しり  
三  
「これだけ生産されて、も聞能途上國の人々に  
食糧は行き渡らない。」

原因  
・自然災害による影響と作物收穫

## ④ 極度の貧困

生産量と生産量の割合で、  
このものの支援だけでは意味がない

○人々が住む環境を変える

の安定した収入を得られるよう

國生管理教育學院  
安全

あらゆる暴力防止民糾弾支援  
DVや児童虐待・高齢者虐待  
子ども食堂の実施

止食糧支援以外への挑戦（2021年12月15日）

お米を吸っていながら、非常食がおもむく運営する。おもむく運営する。

**アーバンバングの問題点**

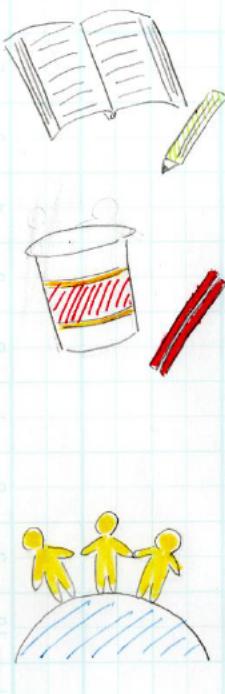
○国内全体会で活動を把握する組織がない。  
○アーバンバング活動に対する法律が存在しない。  
○個人への支援体制がない。  
○認知度が立ち込める。

**アーバンバング高知（高知アーバンバング）の取り組み**

○生活困窮者への食料の供給  
○X-1カ一側は商業フードを抑えようとしたのである。  
○商業を減らすことで企業価値が上がり。  
○活動者や団体は仕入れコストを抑えることができた。

近年、大災害に備えて備蓄倉庫が増えてきてる。その中に多くは食料があり、この賞味期限は1年~2年ある。では賞味期限切れの食品ひとつもあつて行くべきだろ? ...

## 感想



取材を通して、今日まで起きたこと、世界で起きていたことがよく分かりました。私は、普段、国際問題に目を向ける機会は多くありませんでしたが、そこまで深く考えることはあります。しかし、今回取材をしてしたことによ、せんべでした。しかし、今回取材をしてことにより、7.7-ドロスによる問題などについて深く知る機会になりました。例えば、世界で廃棄される食品の量については、約13億トンつまり「1日当たり一日が茶わん一杯分捨つて13件になります。生産量は約40億トン。これだけ生産されても3分の1は捨てられるため、開発途上国にいる子どもたちは食べることであります。普通なら、世界中の人口全員が平等に分け与えられ、食べられるはずですが、捨てるからしまいます。なら食べ物を寄付すればいいと思いますが、持続的に繋りられるわけがなじです。なので、自分たちの責任を負うでもやうに日本の環境づくりをしていく必要があると見えます。特に、子どもたちが働くなくともよいように、途上国でも義務教育にして、大手たちの賛助をアッサセることができます。より良い環境になると思います。実現させるのは難しいかもせん。ですが、私たち先進国の人たちが協力すれば、不可能ではないと思います。世界中の子どもたちが、安心して働いて食べて寝ることができます。それができる日をみんなで作り上げていこう。

## 感想一

私たち、取材をするために7.7ドロス高知県を伺いました。この際、ホランテの一環として、子ども食堂のお手伝いをさせてもらいました。この中で、色々なお話を聞くことができ、自分の知識を広げさせることができました。

私が印象に残っているお話を、「今の時代、見た目がカッコいい」とか「かわいい」というのは、助けにならないことがあります。誰かが困っているのかどうかが深く入り込みないと分からなくなるのは、助けにも助かりません」とつながっています。データの数よりも実際はもっとタリのではなくかと西野さんはいいます。特に、子どもたちが働くなくして、日本でも貧困に苦しんでいる人がいるのに世間がモヤモヤして困っているのが、なぜか疑問も出でます。そして、日本でも貧困に苦しんでいる人がいるのに世間がモヤモヤして困っているのかどうか疑問も出でました。もちろん世界の現状を知らないとも大切ではありますが、自分が現状を知らなければ意味がないと思います。日本が問題が解決できれば、それを活用して世界の問題を解決していくと感じました。

日本も世界もまだ知らないとかなりから少しずつ見えていたり部分を明らかにしていく

## 感想Ⅴ

はじめは話題を聞きにくだけ」の活動予定でした。子ども食堂の手伝いもオせていただくことができました。

（世界の飢餓と何の関係があるのだろう）と思っていました。しかし、出来上がりたご飯も渡していく中で、見て見てきたものがありました。それは「表面だけでは何も分からぬ」という事です。今は、食べ物に困っている人でもちゃんと身なりを整えています。だからこそ、判断をすることは難しいのです。飢餓について調べる前は、「飢餓を食べる」とか「困難なだけ」と思っていました。しかし、調べていくことで明らかになっていく原因と現状。飢餓という言葉からは分からぬ眞実を見えてきたのです。

言葉も知ることは簡単ですが、その言葉や出来事を知ることで何よりも難しいのだと私は思いました。